

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー(店長)	・ファッション関連の婦人服や紳士服の単価も上がってきており、さらに購買点数もやや多くなっている。また、いい物を求めるといった傾向が今後もじわじわと出てくる。
		スーパー(店長)	・自動車、鉄鋼関係が良いので、今後はシナジー効果が出てくる。
		スーパー(店長)	・来客数、売上がやや上昇傾向にあり、このまま少しずつアップし前年同月比約103%から105%で推移する。
		スーパー(店長)	・客数も増え、客単価も徐々に上がってきている。このまま歳暮用品と正月用品が売れ、数字もかなり上向きになってくる。
		スーパー(総務担当)	・食品はここ数か月、前年並みを推移している。また衣料品、住居用品についても今月から前年並みの売上を回復しつつあり、徐々に衣料品、住居用品の購買も高まってくる。
		衣料品専門店(総務担当)	・中高級品の売上が前年を上回っており、バーゲン品は逆に前年を割り込んでいる。今後もプロパー商品の要望が多い。
		家電量販店(経営者)	・地上デジタル放送の開始に伴い、関連商品の買い求めがまだまだ見込まれる。
		家電量販店(店長)	・映像商品、特にテレビの地上デジタル放送関係がらみで商品の動きが活発になる。
		家電量販店(店員)	・2006年12月から地上デジタル放送が始まるため、デジタル家電が好調に推移する。特に液晶テレビやDVDレコーダー、デジタルカメラ等の伸びが期待される。
		家電量販店(店員)	・家電の需要期なのでこの流れで行くと好調に推移していく。特に会社関係の設備投資が増えているので期待できる。
		乗用車販売店(従業員)	・新車販売台数が増えてきている。
		乗用車販売店(従業員)	・決算時期が近づくということで客の来店も多くなり、活気が出てくる。
		その他専門店[ガソリンスタンド](統括)	・新規大型店舗が開所したため、販売量増が見込める。
		その他専門店[ガソリンスタンド](統括)	・燃料油仕入価格が低下し、小売価格も下がるため、灯油のまとめ買いや車に関する消耗品の交換および洗車のサイクル短縮などにより、売上の上昇が期待できる。
		その他飲食店[居酒屋](店長)	・忘年会のプランとして3500円コースと4500円コースを設定しているが、4500円コースの方がよく予約されている。
		観光型ホテル(経営者)	・地域ブランドを再構築し、魅力ある町づくりに取り組んでいるため、今後來客数が増える。
	旅行代理店(従業員)	・近場と海外の客が増えており、年末年始の海外旅行が前年比105%で、近郊の宿泊プランの出足も良い。	
	ゴルフ場(従業員)	・予約が順調に入っている。従業員を正社員からパートへ切り替えたことにより、利益も出てきた。	
	競輪場(職員)	・例年、年末を迎え発売が伸びるが、その前に大きく落ち込む。しかし、その落ち込みが例年より小さい。	
	変わらない	百貨店(売場担当)	・9、10、11月と良くなってきているので12月、1月も例年並みの気温になれば良くなる。ただ、市内百貨店3店舗の売上については規模の差が出てきた。
		百貨店(業務担当)	・今から年間最大の商戦を迎えるが、ギフト、年末商材の動きをみると、昨年実績に届かなかったという状況が続いている。
		スーパー(店長)	・このまま寒さが続けば、婦人服、肌着、寝具等がかなり好調なので売上も上がっていく。しかし競合店との競争が激化しているので、状況は非常に厳しい。
		スーパー(店長)	・近隣に複合商業施設ができ、一部衣料品を中心に競争が始まる。
		スーパー(総務担当)	・増税や原油高など消費マインドを冷やす話ばかりなので、なかなか消費購買力は伸びない。
		コンビニ(販売促進担当)	・ケーキの店頭販売をするが、年々販売量が減少している。来月はクリスマスケーキや生もちがあるが、前年と比べて受注も出足が悪い。
		衣料品専門店(店員)	・買上点数が増えるわけでもなく、必要な物を必要なだけしか買い求めない傾向が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店員）	・冬物のバーゲンの時期が年々早くなっており、今年は曜日配列の関係で12月末からバーゲンをするとところが出てくる。12月商戦というのに買控えがあり、盛り上がりには欠ける。
		乗用車販売店（管理担当）	・2、3月は自動車の需要期であるので来客数も少しは増えてくる。
		乗用車販売店（販売担当）	・この半年間ずっと同じような傾向が続いており、客の動き、販売量、購入価格もこの状態は変わらない。
		旅行代理店（業務担当）	・売上は、横ばい傾向が続いている。
		タクシー運転手	・いい物には高いお金を出し、必要のないものは買わない傾向があるので景気はそんなに変わらない。
		通信会社（業務担当）	・12月のボーナス商戦が始まり、値ごろ感のある商品も増えており、客の動きも活発になる。しかし、他販売店との競争も激化し例年ほどは販売数は伸びない。
		ゴルフ場（スタッフ）	・単価重視で動く客が依然として多い。県全体でも売上はあまり変わらない。
		設計事務所（代表取締役）	・公共的な仕事が増えているが、全体の仕事量が少ない。新たな仕事を展開していく必要があるが、競争が激化している。
	やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・5月の大型商業施設の開業以降、特に土日祭日の中心市街地への来客者が激減している。この傾向が今後も続く。
		スーパー（企画担当）	・暖冬により、春野菜をはじめとする春物商材の早期展開は可能になるものの、冬物商材の動きが鈍くなることや新型インフルエンザの猛威により外出控え等も懸念されるため、現状よりも苦戦を強いられる。
		スーパー（経理担当）	・新規出店計画が多数であり、さらに競争が激化する。
		住関連専門店（経営者）	・地元老舗の同業者の廃業店じまいセールが始まり、2月まではその影響で厳しい状況が続く。また、置き家具や既製品家具の需要状況が依然として厳しい。
	悪くなる	高級レストラン（経営者）	・会社全体で行う大人数での忘年会が少なくなり、小口化している。さらに3～4人の小人数でも送迎の要望があるなど、客の注文はシビアになってきている。今後の予約もあまり入っていない。
	企業動向関連	良くなる	不動産業（従業員）
やや良くなる		家具製造業（従業員）	2月、3月は需要期に入り、商業施設やホテル物件、官公庁が忙しくなるが、特に来年の2、3月はかなりの物件が集中する。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・商談において、客の来期予算や今期売上実績の状況を見ながら、景気は回復していく。
		鉄鋼業（経営者）	・低迷していた販売価格に底値感が見られたが、販売価格が上昇しつつあり、受注数量も増加傾向にある。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いは増えているものの、コストなどが見合わず受注を辞退するものもあるため、コストに関してはこれから少しは改善される。
		建設業（従業員）	・マンション販売の好調な売行きなど明るい兆しがある。
		金融業（営業担当）	・取引先で製造業関係の資金需要が昨年より増えてきており、今年に入ってもそれが十分に維持できているので、今後も景気はやや良くなる。
		広告代理店（従業員）	・11月は毎年、最も取引量の多い月になる。今年も売上高が前年比8%増となった。歳末商戦の前しょう戦となる今月は、好調を維持し全業種とも出稿の伸びが見られ、歳末に期待が持てる結果となった。
		経営コンサルタント	・特に目玉となるような大型消費財が出てきたわけでもないが、全般的に県民の消費意欲が少し増えてきている。もちろん新しい店舗等が出店してきており、厳しい状況ではあるが、全体の消費量は増える
変わらない		農林水産業（経営者）	・新型インフルエンザの発生がマスコミ等で日々報告されており、卵、鶏肉等の消費に影響が出る。
		農林水産業（従業者）	・これから気温の低下時期を迎え、ハウス等の園芸作物は加温をするため、原油高騰の影響が出てくる。
		食料品製造業（経営者）	・納入先の売上の主力である観光客の動向が、あまり芳しくないため、業績の向上が見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注関係はあまり変わらないが、ギフト関係が年々減少の一途をだどっている。焼き物の売場面積もどんどん縮小されている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・仕事量はある程度確保できるが、単価の面が良くならない。
	やや悪くなる	繊維工業（営業担当）	・冬物が売れていないうえに、生産性の悪いデザインやリテールの複雑な商品が増えている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連は相変わらず好調に推移しているが、他分野の金型の落込みが激しく、自動車のみではカバーできない。
		建設業（総務担当）	・手持ちの工事が終わると次の工事が無い状況である。
		輸送業（従業員）	・原油価格高騰の影響をコスト削減によりカバーすることは困難で、商品の値上げも厳しい環境下で苦しんでいる荷主企業が多い。
		通信業（職員）	・工事の引き合い件数は多少上向きではあるが、1件当たりの金額は低いままである。
		金融業（得意先担当）	・取引先の仕事の受注状況があまり良くなく、資金需要も低調なことから今後は若干悪化する。
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	・原油価格の高騰を受け、運送業をはじめとして企業業績、個人消費も影響が徐々に始めている。構造計算偽装問題からマンション需要に対する影響も出てくる。
悪くなる	金融業（調査担当）	・自動車販売台数の減速が顕著になっており、鉄鋼の冷延薄板の価格下落も続いている。	
雇用関連	良くなる	民間職業紹介機関（支店長）	・事務系専門職やシステムエンジニア、金融関係事務などにおいて、わずかながら価格上昇傾向が見られる。来年度の料金交渉へプラスの影響が期待できる。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・正社員雇用を積極的に進めており、求人依頼形態も正社員雇用につながる紹介予定派遣制度を利用する企業が急増している。当面この状態が続く。
		職業安定所（職員）	・非正規社員の求人ニーズが、全体を押し上げているという構造は変わらないが、新卒採用や正社員の中途採用に積極的な動きもある。
		職業安定所（職員）	・新規求人が増加の傾向を示している。
		職業安定所（職員）	・歳末商戦が始まったばかりであるが、雰囲気や人の動きが今までとは違い、個人消費について明るい面が見えている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・スタッフの登録希望者数が減少傾向にある。仕事が見つげやすい状況かと思われるが、景気の回復を認めるものは現れていない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大手のコールセンターが福岡に次々と進出をしていることもあり、人手不足気味となっている。また、大型商業施設や家電業界の競争も過熱化し、特にアウトソーシング業界の人材確保が困難を極めている。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・地元の大手建設業者の倒産により連鎖倒産も予測される。雇用の面でも不安が広がる。
悪くなる	-	-	

